

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

待降節第4主日 4th Sunday of Advent (A)

マリアは男の子を生む。その子をイエスと名付けなさい (マタイ 1・21)

“Mary will give birth to a son and you must name him Jesus” (Mt 1:21)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



教会学校クリスマス黙想会

12月23日(金・祝)午前9時より黙想会を行います。ゆるしの秘跡を受けてクリスマスを迎える準備をしましょう。是非参加してください。(教会学校)

クリスマスのスケジュール

12月24日(土) 午後6:00 クリスマスキャロル
午後7:00 主の降誕 夜半のミサ
ミサ後、スープで暖まってお帰り下さい。
12月25日(日) 午前10:00 主の降誕ミサ
午後4:00 主の降誕 英語ミサ

信者総会用各部会資料提出について

2016年の各部会の会計及び活動報告は、12月25日までに教会のアドレスにメールでお送りください。 kasaicc@siren.ocn.ne.jp

聖書勉強会

聖書勉強会を原則毎月第4日曜日のミサ後11:30より小聖堂で行います。12月は18日(日)です。たくさんの方の参加をお待ちしています。

(宣教部：シスター植木)

献堂50周年記念事業第5期献金報告(修正)

2016年第5期報告(11月末現在)

申込者数：94名(目標：200名)

献金合計：1,932,450円(目標：3,000,000円) 1期からの合計は12,362,267円です。今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals **12,362,267** yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Tagalog na Misa

Tuwing unang Mierkules ng bawat buwan ay magkakaroon ng Tagalog na Misa (alas 10:30 sa umaga)., January 4 February 1, March 1 ang Mierkules sa mga darating na buwan. May kumpisal at novena din sa mga ganoong araw.

ウルスラ修道会でのミサ

これからの予定は1月19日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。12月はお休みです。

50周年ロザリオの祈りの報告(2016年分)

11月20名 460環です。累計で128名 2,083環です。今年は3,000環が目標です。よろしく願い致します。(50周年委員会)

共同祈願の祈り

神よ、救いの恵みを

世界の上に。

その他今後の予定

- 12月18日(日) 待降節第4主日
- 12月23日(金) 教会学校黙想会 **Recollection Day for Children**
- 12月24日(土) 主の降誕前夜 夜半ミサ
- 12月25日(日) 主の降誕
- 01月01日(日) 神の母聖マリア

今週の掃除は12月24日(土)
浦安地区です。皆様ご参加ください。
This Week's Church Cleaning Duty December 24th Saturday
Urayasu Group

掃除当番の方々へ：トマスホールの椅子は、体の不自由な方が通れるように
聖堂との境からタイル2枚分(約60cm)あけて並べて下さい。

献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の
内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして
準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。

『待降節第4主日』A年

今日の福音 マタイによる福音 (1:18-24)

イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人
が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。夫ヨセフは正しい人であ
ったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。このように
考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。
マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエスと名
付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」このすべてのことが起こったのは、主が
預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」
この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が
命じたとおり、妻を迎え入れ[た]。

A Reading from the Holy Gospel according to Matthew (1:18-24)
Jesus is our God - with - us

This is how Jesus Christ came to be born. His mother Mary was betrothed to Joseph; but
before they came to live together she was found to be with child through the Holy Spirit. Her
husband Joseph, being a man of honor and wanting to spare her publicity, decided to divorce her

informally. He had made up his mind to do this when the angel of the Lord appeared to him in a dream, and said “Joseph son of David, do not be afraid to take Mary home as your wife, because she has conceived what is in her by the Holy Spirit. She will give birth to a son and you must name him Jesus, because he is the one who is to save his people from their sins.” Now all this took place to fulfill the words spoken by the Lord through the prophet:

The virgin will conceive and give birth to a son and they will call him Emmanuel, a name which means “God-is-with-us.” When Joseph woke up he did what the angel of the Lord told him to do: he took his wife to his home.

This is the Gospel of the Lord

【 福音朗読 】

イエスは、ダビデの子ヨセフのいいなずけであるマリアから生まれる

[イエスの誕生は、ルカ福音書ではマリアに対して告げられるが、マタイ福音書ではヨセフへのお告げが伝えられていて、イエスがダビデの子孫として生まれたことの次第を明らかにする]

正しい人であったので……

ヨセフがマリアを信じたとすれば、この受胎に神の力の介入を感じ、畏れて身をひいたと言えるだろう。

イエス ヘブライ語では「ヨシュア」。「主は救う」という意味がある。

見よ、おとめが……

イザヤ 7 : 14 の引用（第一朗読参照）。

<拝領唱> (イザヤ 7 : 14)

「見よ、おとめがみごもって男の子を生む。
そのかたの名はインマヌエルと呼ばれる。」

COMMUNION ANTIPHON (Is 7 : 14)

The virgin is with child and shall bear a son, and she will call him Emmanuel.

